



鯉のぼり

会長 溝口 隆一 幹事 福田 昭一

- 例会場 ホテルマロウド筑波
TEL.029-822-3000
- 例会日時 火曜日 12:30～13:30
- 事務局 土浦市真鍋1-2-6 金塚ビル3F
TEL 029-823-4524 FAX 029-869-9006
- ホームページ <http://tsuchiura-src.jp>
- Eメール info@tsuchiura-src.jp

2017～2018年度
国際ロータリーテーマ



ロータリー：
変化をもたらす

2018年5月8日 40号
2018年4月24日 第4例会報告



地区HP



地区行事予定

- | | | | |
|--------------------------|--------|------------------------------|---------------------------|
| 1. 点 鐘 | 溝口会長 | 7. 会員卓話 | |
| 2. ロータリーソング斉唱
(奉仕の理想) | | | ロータリー情報委員会委員長
海田 恭敬 会員 |
| 3. 幹事報告 | 福田幹事 | 8. 点 鐘 | 溝口会長 |
| 4. 委員会報告 | | 9. ロータリーソング斉唱
(それこそロータリー) | |
| 5. ニコニコボックス発表 | 阿部副SAA | | |
| 6. 出席状況報告 | 出席委員会 | | (司会進行 高野SAA) |

本日のプログラム

大山直樹会員によります卓話でございます。

次週のプログラム

5月15日(火)は、世界湖沼会議(10/14)に向けた阿部彰土浦サテライト実行委員長によります卓話でございます。

出席状況

会員数	出席数	出席免除	出席率	全員出席卓	3名以上欠席卓	メイクアップ	出席訂正率
名	名	名	%	卓	卓	名	%
93	66	8	71.74	2	3・5・7 8・9	19	92.39

【会員卓話】

ロータリー情報委員会委員長 海田 恭 敬 会員



皆さんこんにちは。本日はロータリー情報委員会の卓話をいたします。本日はこの例会の卓話の後に1時間ほどのセミナーを行います。また、5月8日にも第2回のセミナーを開催いたします。

季節も桜花から新緑の時期に変わってまいりまして、ロータリーの2017-18年度も最終章に差し掛かってきました。指導力豊かな溝口隆一会長をはじめ幹事・理事の方々の活躍のする競技場のトラックの先にはエレクトの稲野邊穰さんが、さらにその先にはノミニーの清野宏之さんがウォーミングアップをして待っておられます。そういった姿が私の目には浮かんでおります。毎年、この季節になると、人は変わりますがこのような状況を、私は入会以来40数年間見てきました。これからの皆さんも歴史を引き継いで頑張っていたいだきたいと思っております。

今年一年間、非常に多くの行事がございました。その中でも一番印象に残っているのは、やはり、当クラブより輩出された鈴木明夫ガバナー補佐に伴うIM（インターシティ・ミーティング）です。ご存知のように、当クラブからは3人のガバナーと分区代理時代を含めて8人のガバナー補佐を輩出しております。残念ながら亡くなられた方もおられますが、現在も熱心に我々の指導をしてくださっている片岡信彦パストガバナーをはじめ、清野弘さん、私、稲本修一さん、鈴木明夫さんがガバナー補佐経験者の現役メンバーです。先日のIMは、クラブ全体で取り組んだ行事で、実行委員長の今泉孝之さんや副委員長の江ヶ崎實さんをはじめ、各委員長さんの準備で立派に開催されました。その中では、一昨年の地区大会でRI会長代理を務められた小沢一彦さんをお招きして講演をいただいたことが大変印象に残っています。その他にも多くの例会・親睦行事が行われた年度でした。

次に、当クラブの現在の状況について少し述べたいと思います。土浦南ロータリークラブは、今から53年前の1965年に設立されました。私が入会した当時は明治生まれの大先輩がずらりと並び、大正生まれが中堅、昭和生まれはまださほどいないという状況でした。私の入会の翌年が設立10周年ということで会員増強が行われ、13名と、多くの入会者がありました。同時入会で現在残っているのは清野弘先生と淀縄武雄先生と私の3人になりました。会員数は設立時は33名でスタートし、現在93名と、約3倍に増えました。このように大勢の入会者があり、現在、茨城県で55クラブ中、3番目に多いクラブです。しかし、重要なのは数ではなく内容です。ガバナー月信によりますと、2820地区は、平均すると1クラブ36名の会員が在籍していることとなりますが、この平均値を超えるクラブは約30%です。残りの70%のクラブは36名以下となります。80人以上在籍しているクラブは5クラブとなります。この5クラブの中でも通年の出席率が90%を超えるのは土浦南クラブだけです。他のクラブは、会員の一番多い水戸RCでも実際の出席率は75%です。

やはり、ロータリークラブで最も大切なことは「会員（人）」です。ここ数年、新しい会員がどんどん増えていますが、皆素晴らしい方ばかりです。今回のセミナーにあたって、出席の確認の電話をしましたが、皆さん大変礼儀正しい対応をされ、まさに「打てば響く」様でした。このように土浦南RCは年々大きくなっています。現在、一番若い鈴木常生会員が37歳、最年

長の清野弘さんが92歳で、55歳の年齢差があります。しかし、当クラブは老荘青年層がうまくかみ合っているように思われます。若い新入会員の方も中堅以上の先輩方に素直に話しかけてくれる。また、年長者もまだまだ気持ちは若く新入会員に接しています。他には「年寄りばかり」や「若い人ばかり」のクラブもあります。当クラブはそのようにならないようにしましょう。

土浦南クラブは、県内で14番目に設立されたクラブです。県内で最初の水戸クラブの後、すぐに土浦にも働きかけがありましたが、当時、市長選などで市内がまとまっておらず、日立や那珂湊や石岡より遅れての設立になりました。しかし、当時は一業種一人でしたので、同業者で入会したい人が入れない状況があり、それに対応するために土浦南RCが設立されました。その当時の土浦の状況については土浦RCの50周年の新聞記事に書かれています。今では土浦クラブとのわだかまりは全くなく、仲の良い関係となっています。

今日は皆様のお手元に「ロータリーの樹」という印刷物があると思いますが、私が入会した当時は小竹俊夫さんが大きな図を描いて説明してくださいました。ロータリーは先ず、「クラブ奉仕」が土台です。仲良くできないようでは先が続きません。次に、ただ仲良くしているだけではだめなので、お互いの職業を認め合い利用しあうということで「職業奉仕」が生まれました。この「職業奉仕」がロータリークラブの一丁目一番地となります。そしてロータリーの活動を社会に還元しなくてはいけないということで「社会奉仕」ができました。そして、自分の国だけが良くなれば良いことではないということで「国際奉仕」に広がっていきました。さらには、この先の将来をどうするかという視点から「青少年奉仕」という概念が生まれました。人を育てましょうということです。このようにロータリーから様々な枝が広がってきました。ローターアクトの方々が将来のロータリアンになることを期待しています。これらがロータリーの「五大奉仕」です。ここに、世の中には困っている人が大勢いるということから「ロータリー財団」という形で会員の皆さんから集めたお金を援助することを行っています。さらに日本独自の活動として、日本で勉強したいという、主に東南アジアの人たちを応援しようということで「米山記念奨学会」を行っています。

今日の例会後のセミナーは、「ロータリー規定審議会」の要旨をまとめた「手続き要覧」の解説と「職業奉仕」を片岡信彦パストガバナーに、「クラブ奉仕」を白井秀治会員に、「青少年奉仕」を楠英夫会員にお願いしています。次回のセミナーでは「社会奉仕」を金塚功会員に、「国際奉仕」を今泉孝之会員に、「ロータリー財団」を清野宏之会員に「米山記念奨学会」を黒澤不二夫会員にお願いしています。クラブの皆さんに少しでもロータリーの情報を共有していただきたいと思います。

最後になりましたが「土浦南RC新旧二世代会員リスト」をお配りしました。A・B・Cの三つに分けましたが、Aは現在の親子会員で清野さん齊田さん片岡さんの3組いらっしゃいます。Bは以前は親子会員でしたが今は御子息・孫世代のみが会員の方々です。Cはかつての親子会員で、現在クラブに在籍していないの方々です。また、女性会員の第一号は高橋信子さん、川上厚子さんです。

この後のセミナーでは、講師になる各委員長さんが一生懸命に勉強して会員の皆さんに少しでも役立つ情報をお伝えしようと準備しています。聞く方の皆さんも真剣に聞いていただきたいと思います。どうぞ皆さんよろしく申し上げます。

【第1回ロータリー情報委員会セミナー】



溝口会長挨拶



海田ロータリー情報委員長



片岡P G



白井クラブ管理運営委員長



楠青少年奉仕委員長

【第1回ロータリー情報懇談会】



懇談会



宇田ロータリー情報副委員長



中締め 稲野邊副会長